

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
リベラルアーツ					
a) 心理					
人間関係とコミュニケーション	②	1. 他者と関わり生きている自分、自分と関わる他者・社会について主に心理学の視点から理解する	○	○	
		2. 日常生活での自身の行動や、これからの行動を見直す	○	◎	
		3.			
生涯発達心理学	②	1. 人間理解に、一生涯の時間という視点を取り入れる	○	◎	
		2. これまでの自分について、過去にたどってきた発達という視点で捉える	○	○	
		3. これからの自分や他者について発達の視点で捉え、理解する	○	○	
臨床心理学	②	1. 現代社会の心理的問題や教育、発達の問題について理解する	○	◎	
		2. 臨床心理学の基礎的な知識を習得する	○	○	○
		3. 実践的な心理的援助について理解する		○	
カウンセリング入門	②	1. カウンセリングの基礎的理論を理解する	○	○	
		2. カウンセリングにおける「みため」を理解する	○	◎	
		3. 援助に必要な相談・面接技法を習得する	○	○	
臨床人間学	②	1. 哲学的なテキストを理解できる	○		
		2. 哲学的なテーマについて自分の考えを表現できる	○	◎	○
		3. 「語り」を介して、他者の思いに気づくことができる	○	○	
社会心理学	②	1. 日常経験する様々な現象を2人以上が相互に影響する結果として捉え	○	○	
		2. 社会の中で体験する様々な出来事をより深く理解する	○	○	○
		3. 社会を読む目を養い、多様な状況への対応能力を高める	○	◎	○
b) 人間と社会					
哲学	③	1. 西洋哲学の基本的な歴史を知る	○		◎
		2. 代表的な哲学者の思考を体験する	○	○	
		3. 哲学の基本問題について、自分の考えを表現できる	○	○	
日本文学	②	1. 各作品の大略を理解し、説明することができる	○	◎	
		2. 他者の視点を意識して、作品を多面的に鑑賞することができる	○		
		3. 「読む」行為を通して、自身の視野を広げ、深めることができる		○	○
文化人類学	③	1. 文化人類学の基本的な理論について学び、理解する			○
		2. 学んだ理論を、自らの日常生活に照らし合わせて思考する能力を身につける			◎
		3. 文化を巡る様々な問題に対して自らの意見を持ち、論理的に主張することができる	○		
現代法学	①	1. 市民生活を支える重要法令に関する基本知識がある。	○		
		2. 市民生活と諸法の関係を具体的に説明することができる。	○	○	
		3. 現代社会における課題解決に向けた法的視座を会得している。	◎		
現代社会学	①	1. 家族の変動を社会の変動と結びつけて理解する	○		
		2. 家族を多角的に捉える視点を身につける	○		
		3. 現代社会が抱える課題に対し、当事者意識をもつ	◎	○	
生涯学習概論	②	1. 生涯学習の意義と基本的な考え方を学ぶ。	○	◎	
		2. 生涯学習支援施設の現状と課題を捉える。	○		
		3. 学生自身の将来に渡る学習への意欲を形成する。	○	○	

専門科目目

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
社会福祉概論	①	1. 社会福祉が私達の身近な生活の中に深く関わり、生活を支えているものであるということを理解することができる。	○	○	
		2. 社会福祉の基本的知識・理解を深めることができる。	◎		
		3. 社会福祉の法律や制度の仕組みについて理解することができる。	○		
		4. 社会福祉における相談援助技法(ソーシャルワーク)について理解することができる。	○	○	
		5. 社会福祉の近年の動向と課題について理解することができる。	○	○	
メディア文化論	③	1. それぞれのメディアの特性を理解することができる	○		
		2. メディアを通して発信されている情報の文化的な意味を捉えることができる		○	○
		3. メディア表象と現実社会の密接な関係性について理解し、説明することができる	○	○	◎
c) 地域と観光					
かごしまのダイナミズム	①	1. 鹿児島に関する基本的な知識を身につけ、自分の言葉で説明することができる	◎	○	
		2. 歴史や文化、自然などを通して、鹿児島島の動的な魅力を再発見することができる	○	○	
		3. グローバルな視座からローカルとしての鹿児島を理解することができる		○	○
地域とマスメディア	①	1. 報道の仕組みについて理解する	○		
		2. 地域の放送局の仕事の実際を理解する	○		
		3. 理解力、コミュニケーション能力を身につける	◎	○	○
観光文化学	①	1. 観光という現象をさまざまな視点から理解することができる	○		
		2. 観光が文化に与えるインパクトについて理解し、その意義や問題点について説明できる	○		○
		3. 授業で学んだことを鹿児島県の観光に当てはめて考え、それを説明することができる	◎		
観光フィールドワーク	①	1. 地域の観光空間について観光論を踏まえたうえで説明することができる	○		
		2. 地域の観光空間にどのような魅力や課題があるのか発見することができる	○	○	
		3. 地域の観光空間をどのように発展、改善するべきか説明することができる	◎		
観光とホスピタリティ	①	1. 観光に必要なホスピタリティ・マインドについて理解することができる	○	○	
		2. 観光空間のサービスを体験することにより、経験的にサービス商品の質について考察できる	◎	○	
		3. 研修の経験をもとに、自分なりのホスピタリティ・マインドについて説明することができる		○	
d) 国際理解					
言語・文化の多様性	③	1. 異言語・文化に興味を持ち、自ら調査を行うことができる	○		◎
		2. 異文化理解を通して、自国の文化に興味を持ち、理解を深められる	○		○
		3. 異言語・文化について、他者と議論することができる	○	○	
グローバル社会への理解	③	1. 国際問題の原因・背景を理解する。	○		○
		2. 国際問題への現在の国際的・国家的な取り組みを学習すると同時に自分たちでできる取り組みを考察する。	○	○	◎
		3.			
グローバルコミュニケーション	③	1. 英語を使ったコミュニケーションの技術を身につける	○		○
		2. 異なる文化背景を持つ方たちへの接し方を身につける	○		◎
		3. 仕事の場面における対応力を身につける	○		○
異文化間コミュニケーション論	③	1. グローバル社会で生き抜く為の異文化理解をめざす	○	○	◎
		2. コミュニケーションの相違の背景にある文化的な違いについて理解する。	○	○	
		3.			

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
ビジネス・コミュニケーション					
ビジネス実務総論	①	1. ビジネス実務の概念を理解する	◎		
		2. ビジネス社会の変化について、理解を深める		○	
		3. 職業人としての素養を身につける	○	○	
オフィス実務	①	1. 社会人としての基本を身につける	◎		
		2. 対人コミュニケーションの基本的な技術を習得する		○	
		3. 事務職に必要な技能を身につける	○		
ビジネスワーク	①	1. 効果的な対人ができるようになる		○	
		2. 情報機器を活用したビジネス実務能力を身につける	◎		
		3. 企画力・マネジメント能力を発揮しチームで仕事ができるようになる。	○		
秘書総論	①	1. 職場における秘書の役割を理解する		○	
		2. 秘書業務に関する基礎知識と専門知識を身につける	◎		
		3. 臨機応変に対応できる実務能力を身につける	○	○	
ビジネス英語	③	1. 日常的に使われるボキャブラリーを使用することができる	○	○	◎
		2. 自分の伝えたいことを英語で言うことができる	○		
		3. 相手の言うことを正確に理解できる			○
英語	③	1. 英文法を正しく理解できる	○	○	○
		2. 正しい英文法を使った文章を書くことができる	○	○	◎
		3. 自分の意見や情報を英語で伝えることができる	○		
英会話	③	1. リーディング、スピーキング、英語を使ったゲームを楽しむ			◎
		2. 様々な状況における学生のリスニングや英語力を使う力を発展させる			○
		3.			
ヨーロッパ言語	③	1. 買い物や旅行など、簡単な日常会話ができるようになる。	○		○
		2. 簡単なドイツ語が読め、基本的なドイツ語の構造が理解できるようになる。	○		◎
		3.			
中国語	③	1. 中国語の発音に慣れる。	○		
		2. 簡単な挨拶表現ができる。	○		
		3. 基本文系を用いた表現ができる。	○		◎
韓国語	③	1. 韓国語の文字と発音を学習する。	○		
		2. 基本の文法事項を学習する。	○		
		3. 簡単な日常の挨拶ができる。	○		◎
メディア・クリエイティブ					
情報科学概論	①	1. 情報リテラシーを習得する	○		
		2. ハードウェアやソフトウェアの構造と機能を理解する	○		
		3. 情報機器の活用法について基礎的知識を習得する	◎		
情報活用	①	1. Chromebookや基本アプリの操作スキルを習得する。	○		
		2. 各種アプリの基本的な操作スキルを習得する。	◎		
		3.			
デジタルビジネス概論	①	1. 現代社会におけるデジタルビジネスの概要を理解する	○		
		2. デジタル技術がビジネスに与える影響について学ぶ	○		
		3. 新しい価値を説明しうるプレゼンテーションスキルを課題制作を通して	◎		

専門科目

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

	科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
				①	②	③
専 門 科 目	データサイエンス概論	①	1. データサイエンスの概要や利活用されている現状を知る。	○		
			2. データサイエンスと統計の違い、基本的な統計的考え方を理解する。	○		
			3. エクセルを用いた基礎的な統計処理を学ぶ。	◎		
	情報処理論	①	1. 情報がどのように活用されているか把握する	○		
			2. 情報の活用についてどのような問題点があるか把握する	○	○	
			3. 自ら情報を活用する力を修得する	◎		
	プログラミング	①	1. 初歩的アルゴリズムを理解する	○		
			2. 論理的思考力を身につけ、簡単なアルゴリズムを作成できる	○		
			3. オブジェクト指向のプログラミング環境スクラッチを用いて、簡単なプログラムを作成できる	◎		
	デジタルデザイン	①	1. 現代社会におけるデジタルデザインの重要性を理解する	○		
			2. 情報化社会におけるデジタルデザインの基礎的な知識、考え方を学ぶ	○		
			3. デジタル技術の特性を活かしたコンテンツの企画・制作を行う	◎		
	マルチメディア演習	①	1. マルチメディアを構成するデジタルデータの概要を理解する	○		
			2. マルチメディアコンテンツ制作のプロセス、考え方を学ぶ	○	○	
3. オブジェクト指向のプログラミングツールを用いてマルチメディアコンテンツの制作を行う			◎			
図書館概論	①	1. 図書館の意義と役割を理解する	◎	○		
		2. 図書館に関わる基礎的な知識を身につける	○			
		3.				
図書館情報資源概論	①	1. 図書館において情報資源を提供する意義を理解する	◎	○		
		2. 図書館の情報資源に関する知識を身につける	○			
		3.				
情報サービス演習 II	①	1. データベースとは何か、理解できる	◎	○		
		2. 社会、特に図書館でのデータベース活用状況を把握する	○			
		3. 利用者の検索要求を分析し、情報を発信できる	○			
キャリア・アドバンス						
日本語表現法 I	②	1. レポートの構成を理解する	○			
		2. レポート作成にあたり説得力のある論拠を示すことができる	○	◎		
		3. 社会調査の基礎を理解する		○		
日本語表現法 II	②	1. 既存の情報について適切な読み方と活用ができるようになる	○			
		2. 説得力のある論拠を示して自身の意見を述べるができる	○	◎		
		3. 相手にわかりやすい表現方法を身につける	○	○		
ライフデザイン論 I	②	1. 人として必要な礼儀やマナーを身につける		◎		
		2. 生活を豊かにする現代的教養を身につける	○	○		
		3. 多様な職種に触れ、職業観を養う	○	○		
ライフデザイン論 II	②	1. 社会人として必要な礼儀やマナーを身につける		◎		
		2. 生活を豊かにする現代的教養を身につける	○	○		
		3. 多様な職種に触れ、職業観を養う	○	○		

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

	科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
				①	②	③
専 門 科 目	キャリアデザインⅠ	①	1. 自分の人生を設計する	◎		
			2. 現代社会のありようを理解する	○	○	
			3. 就職活動のための知識・技能を身につける	○	○	
	キャリアデザインⅡ	①	1. 自分の人生を設計する	◎		
			2. 現代社会のありようを理解する	○	○	
			3. 就職活動のための知識・技能を身につける	○	○	
キャリアデザインⅢ	①	1. 自分の人生を設計する	◎			
		2. 現代社会のありようを理解する	○	○		
		3. 就職活動のための知識・技能を身につける	○	○		
プロジェクト演習	①	1. 地域社会に関する知識を身につける	○		○	
		2. テーマのもとに発表資料が作成できる	○	○		
		3. 文書やプレゼンの形で情報発信できる	◎			
プロジェクトデザイン概論	③	1. 令和5年度開講 検討中				
		2.				
		3.				
総合教養ゼミ	①	1. 一般知能の解法に必要な基礎的知識を習得している。	○			
		2. 与えられた条件のもとに処理する能力を習得している。	○			
		3. 条件式を利用して文字や数を使いこなす能力を習得している。	○			
		4. 規定時間内に実践問題に対応する能力を習得している。	◎			
資 格 取 得 養 成 科 目	会計処理	①	1. 基本的な取引の仕訳や各種帳簿の記入ができるようになる	◎		○
			2. 決算手続きの処理ができるようになる	○		○
			3. 簿記の全体像を理解し財務諸表を作成できるようになる	○		○
	サービス実務総論	①	1. 社会人として求められる基本的なサービスについての知識やマナーを身につけ一般的な接客、来客対応ができるようになる	◎	○	
			2.			
			3.			
メディカル秘書総論	①	1. 医療保険制度の内容を理解し職場で活かせる。	◎			
		2. 患者対応や接客の実務を習得し仕事に活用できる。	○	○		
		3.				
医療事務演習	①	1. 診療行為における診療報酬算定要件を理解し、説明できるようになる	◎			
		2. 診療報酬明細書の作成及び請求について理解し、実務がこなせるようになる	○			
		3. 医療費の仕組みを理解し、診療報酬点数の算定を行う技術を身につけ、実際の実務がこなせるようになる	○			
薬理の基礎	①	1. 薬理作用の一般的概念を理解し、説明できる	◎			
		2. 薬物動態、薬物相互利用の基本的概念を理解し、説明できる	○			
		3. 薬害・乱用薬物について学び、説明できる。	○			
		4. 身近に接する代表的な薬について学び、その薬理作用・有害作用を説明できる	○			
ウェブデザイン	①	1. ウェブの基礎知識を習得する	○			
		2. ウェブデザインの基礎知識を習得する	◎			
		3. ウェブデザインの制作技術を習得する	○			

令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

教養学科DP	① 専門的知識や技能 現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。 ② コミュニケーション能力 他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。 ③ グローバル社会への理解 異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。
--------	--

資格取得養成科目	科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
				①	②	③
	情報デザイン演習	①	1. 情報デザインの概要を理解する	◎		
			2. 事例を通して人間とモノや環境との関係性にかたちを与える方法論を学ぶ		○	
			3. 生活の中にあふれる情報をわかりやすく提示し、良い体験をデザインすることの大切さを理解する	○	○	
	図書館制度・経営論	①	1. 図書館法や著作権法など図書館関連の法規について理解する	○	○	
			2. 国や地方公共団体の図書館行政・政策等の変遷と現状について理解する	○	○	
			3. 図書館経営をソフト面/ハード面からとらえ、図書館経営の柔軟な発想を培うことができるようになる。	◎	○	
	図書館サービス概論	①	1. 図書館サービスの種類と特徴を知る	○		
			2. 図書館サービスに必要な知識を身につける	○	○	
			3. 図書館で実際行われている具体的なサービスを理解する	◎	○	
	情報サービス論	①	1. 情報サービスが必要とされる社会的背景を知る	○		
			2. 情報サービスの種類と理論を知る	○	○	
			3. 図書館で実際に行われている具体的な情報サービスを理解する	◎	○	
	児童サービス論	①	1. 児童サービスの理論について学び、具体的な児童サービスの説明ができるようになる	◎	○	
			2. グループでのディスカッションを通し、協働で児童サービスのプログラムを構築できるようになる	○	○	
			3. 児童サービスに関する読書手法の技能を身につけることができるようになる	○	○	
4. 児童サービスを通して地域社会の子どもに対するサービスに関心を持つ態度が身につけられる			○	○	○	
情報サービス演習 I	①	1. 情報サービスにおける知識と技能を身につける	○			
		2. レファレンスサービスに必要な知識と技能を身につける	○			
		3. 情報サービスの理論と実際を理解する	◎	○		
情報資源組織論	①	1. 図書館において情報資源を組織化する意義を理解する	◎	○		
		2. 情報資源の組織化に関する知識を身につける	○			
		3.				
情報資源組織演習 I	①	1. 目録作成業務の技能を身につける	○			
		2. 記述目録法の理論と実際を理解する	◎	○		
		3.				
情報資源組織演習 II	①	1. 図書館の情報資源を分類する技能を身につける	○			
		2. 図書館の情報資源に件名を付与する技能を身につける	○			
		3. 主題目録法の理論と実際を知る	◎	○		
学校経営と学校図書館	①	1. 学校教育の中の学校図書館の位置づけと教育的意義を学ぶ。	◎			
		2. さまざまな学校図書館の事例を学ぶことで学校司書と司書教諭の果たす役割について関係づけられるようになる。	○			
		3. 司書教諭の仕事について関心を持ち、仕事内容について具体的に説明できるようにする。	○			
		4. 司書教諭と学校司書の協働の大切さを知る。	○			
図書館実習	①	1. 図書館業務に関する知識を身につける	○	○		
		2. 図書館業務に関する技能を身につける	○	○		
		3. 図書館業務を実践的に理解する	◎	○		